



学校だより

騎西特別支援学校
No. 10
令和3年1月29日

新年を迎えて1ヶ月が経とうとしています。3学期は1年間を総括する大切な時期です。子どもたちは一日一日を大切に、日々の学習や行事を一生懸命に取り組んでいます。

まだまだ寒い日が続きます。うがい・手洗い・水分補給・換気等、感染症予防を行いながら元気に学校生活を送りましょう。



～1月を振り返って 各学部より～



【小学部】

(小低) 寒さが厳しい毎日ですが、子どもたちは外の遊具で遊んだりマラソン等でたくさん体を動かしたりしています。お正月遊びでは、図工の時間に自分たちで凧を作り、校庭で凧あげをしました。また、生単の時間には書き初めをしています。みんな筆を握って墨をつけると大胆に書いていました。それぞれの学年でいろいろなお正月遊びを楽しむことができました。



(小高) 6年生では、図工の時間に書き初めを行いました。今年の干支である「うしどし」や好きな言葉を選び、半紙に収まるようにバランスを考えて普段使わない筆での書き具合を楽しみながら書くことができました。また、生単の時間では中学部進学に向けて、マナーやスキンケアについて学んでいます。スキンケアでは、どうして顔を洗うのかについて知り、実際に洗顔料・化粧水を使って、どのように洗うのか実践しました。初めて洗顔する子もいましたが、泡を手に取り優しくクルクルと円を描くように顔を洗うことができました。



【中学部】 ～作業学習の様子～

(やきもの班) 2学期は皿作りだけでなく、ネームプレートや人形作りにも挑戦しました。1月はそのネームプレートや人形に、陶芸の絵の具で色を付けました。班員全員が、名前や模様の色を付けるとき、とても慎重に作業していました。最後に透明釉をかけて窯で焼きます。「出来上がりが楽しみ！」という声がたくさん聞かれました。



(紙工班) 3学期は、自身で漉いた紙を利用した『オリジナル掛け軸』の製作を行っています。リサイクルして加工するために煮沸した牛乳パックのラミネートをはがしたり、乾かした芯を細かくちぎったりする原料づくりから自分たちで行います。1学期から取り組んできた紙漉きの作業にも慣れて、綺麗に仕上げられるようになってきました。新たな工程や活動内容にも積極的に取り組んでいます。

【高等部】

新年の始まりに、毎年恒例の書き初めを行いました。自分の好きな食べ物やキャラクター、趣味を書く生徒もいれば、今年や来年度の目標をよく考えて言葉を選び、表現している生徒もいました。今年達成したいことに当てはまる四字熟語を調べている生徒も。一年ぶりの書き初めでもさすがの高等部。筆や半紙の使い方に慣れておりスムーズに書き始めます。各自が黙々と書き進め、お手本を横におくと一枚書くにつれどんどんと上達していく様子が見られました。「名前はまだ少し上かな」「このハネを丁寧に書いてみよう」などと、文字の形を意識して取り組み、一枚完成すると「先生見てください！」と笑顔で見せてくれました。

文字が書き終わると、台紙に貼り、千代紙で飾り付けをして作品を完成させました。言葉を選んだ理由や書くのに集中した点などをお互いに発表しあい、今年目標を改めて掲げ、意識を高めました。

